

# 6つの施策の取組方針

## 施策 3

# 物流生産性向上のための 道路ネットワークの構築

### 目指す姿

●企業活動のグローバル化や生産性向上に資する最適な物流ネットワークが構築されています。

### 現状と課題

社会資本未来プランより

- 主要な物流・人流ルート上においては、依然として渋滞が残存し、社会経済活動において多大な影響を及ぼしています。
- 物流拠点と本県の強みでもある井桁状の高速道路ネットワークへのアクセスを強化する必要があります。

### 県内の渋滞発生状況

#### ●広島港周辺



#### ●福山港周辺



広島港や福山港から高速道路等の物流道路へアクセスするためには、市中心部に集中している主要渋滞箇所を通過する必要があるなど、速達性・定時性の確保が課題となっています。

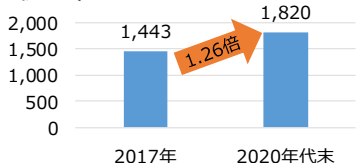


国道2号 西広島BP(広島市)

#### 広島港の港湾物流の需要拡大

広島港における取扱貨物量等の目標値

(万トン)



出典: 広島港湾計画書(広島県H31.3)

広島県における市町別  
主要渋滞箇所数(89箇所)



令和2年8月時点

#### 福山市中心部の2区間が上位に

国道2号渋滞ランキング(R1)

順位	渋滞損失時間※	市区町村	区間名
1	124	広島市	東雲インター入口交差点～出汐町交差点
2	98	倉敷市	大西交差点付近～中新田交差点
3	94	福山市	紅葉町交差点～小田川橋交差点
4	74	岡山市	バイパス豊成交差点～青江交差点
5	72	福山市	明神町交差点～府中分かれ交差点

出典: 渋滞ワーストランキングのとりまとめ(平成31・令和元年)(国土交通省)より作成  
※単位: 万人・時間/年

国道2号赤坂BP東口交差点付近

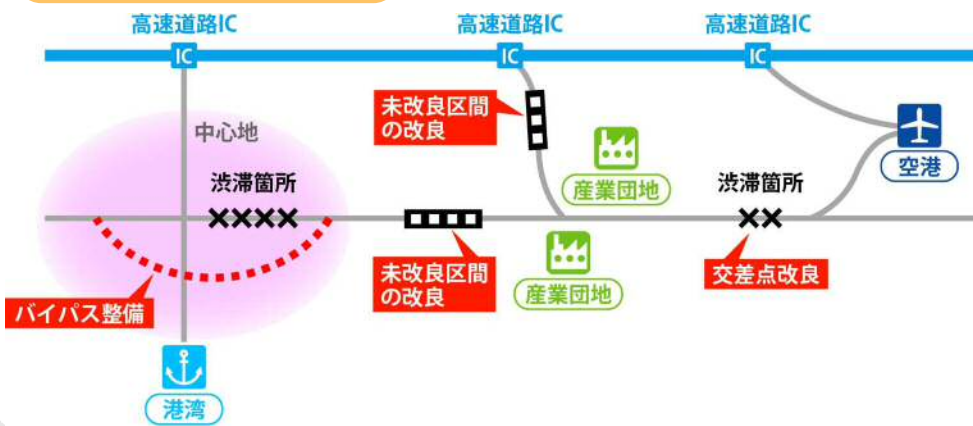
### 用語説明

井桁状高速道路ネットワーク…中国縦貫自動車道、山陽自動車道を横軸に、広島自動車道、浜田自動車道、東広島・呉自動車道、中国横断自動車道尾道松江線、西瀬戸自動車道を縦軸に形成される広域にまたがる高速道路ネットワーク。  
 主要渋滞箇所…交通の集中等により渋滞が発生している箇所。令和2年に県内で89箇所が選定されている。  
 渋滞損失時間…渋滞によって遅れた時間。ある区間を自動車で行く際に要する基準的な旅行時間(基準旅行時間)から実際の旅行時間を引いた時間(遅れ時間)。

### 取組の方向

- 生産性の向上など企業活動を支える物流基盤の充実
  - ⇒都市部の渋滞を解消し、物流拠点と井桁状の高速道路ネットワークをつなぐ広域的な道路ネットワークの形成を図ります。
- グローバルゲートウェイ機能の強化に資する道路整備の推進
  - ⇒広島空港、広島港、福山港への速達性・定時性の確保と代替性・多重性の強化を図ります。
  - ⇒広島中央フライトロードなど、効率的な空港へのアクセスルートについて調査等を進めます。
- 広島都市圏における高速交通体系の確立
- 効率的な輸送を支援するスマートICの整備
- 県西部の物流拠点における広島市東西を結ぶ物流交通基盤の充実
- ◆効果を高める取り組み
  - ⇒ビッグデータ等を活用した渋滞対策等、効果的な交通マネジメントに取り組みます。

#### 整備イメージ図



広島高速5号線 広島駅北口IC(仮称) 整備イメージ



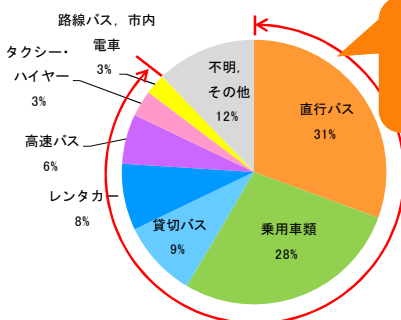
国道2号福山道路 整備イメージ



福山沼隈道路 整備イメージ

#### 広島空港アクセス機能強化の重要性

空港アクセスの手段別割合【H25年度】



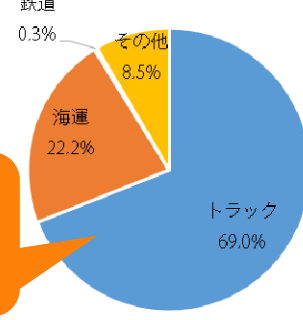
広島空港へのアクセス手段は道路利用が約9割を占めている。

本県の貨物輸送量の交通手段割合は、トラック輸送による陸送がメイン。

出典:国土交通省 平成25年度航空旅客動態調査より作成

#### 貨物輸送の交通手段割合

代表手段機関別担率(仕入ベース)



出典:第10回全国貨物純物流調査(物流センサス)

#### 指標

	現状(R2)	目標(R7)
年間渋滞損失時間	4,500万時間	3,500万時間
主要渋滞箇所における対策箇所数	15箇所	7箇所
広島空港に60分で到達可能な圏域の人口	149万人	162万人

グローバルゲートウェイ…世界各国と多方面、多頻度の航空路線・航路で結ばれた国際的な規模と機能を有した競争力の高い拠点となる空港・港湾。  
 スマートインターチェンジ(スマートIC)…高速道路の本線やサービスエリア、パーキングエリア、バスストップから乗り降りができるように設置されるICであり、通行可能な車両(料金の支払い方法)を、ETCを搭載した車両に限定しているIC。  
 ビッグデータ…デジタル化の更なる進展やネットワークの高度化、IoT関連機器の小型化・低コスト化等によって得られる膨大なデータ(スマートフォン等を通じた位置情報や行動履歴、インターネットやテレビでの視聴・消費行動等に関する情報等)。